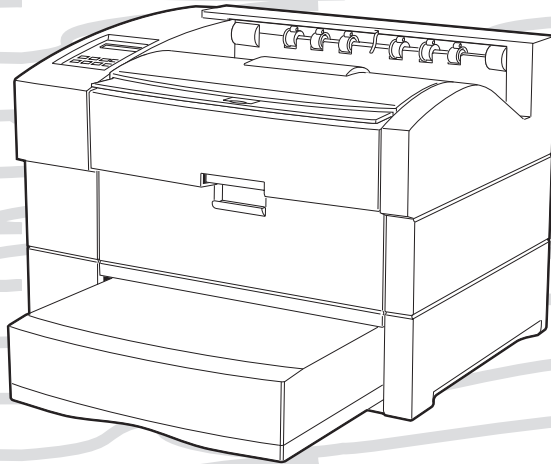




IBM 5589-K20型レーザー・プリンター

設置・操作ガイド

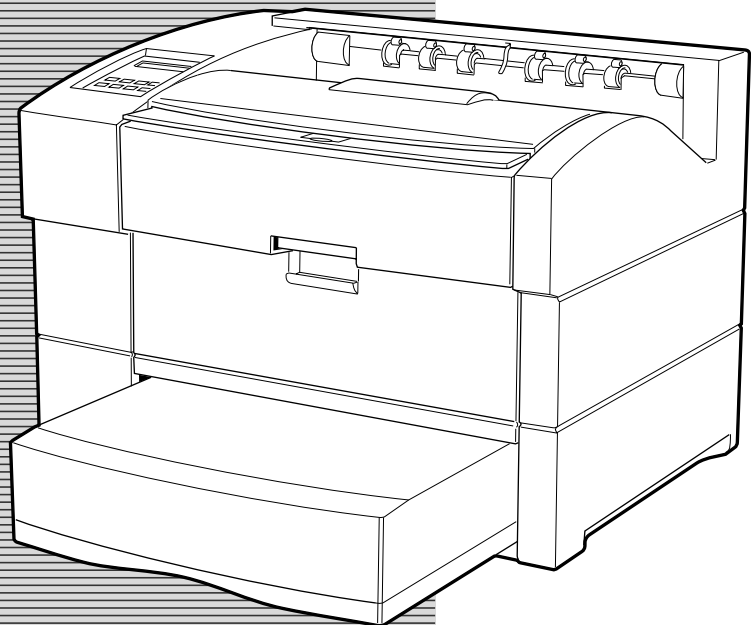


SA88-0128-01



5589-K20

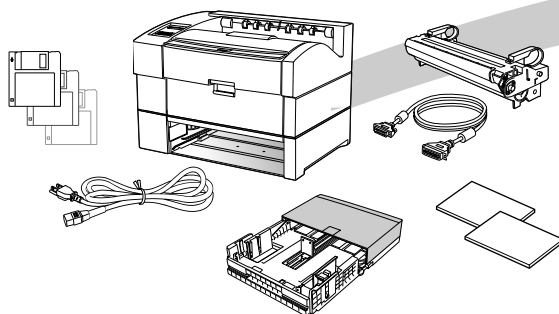
設置・操作ガイド



この順番で作業を進めます

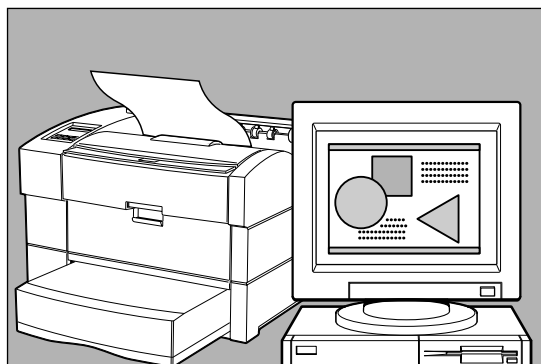
プリンターの設置からプリンターが使えるようになるまでに、次のような作業が必要です。ひとつひとつ確認してから、作業をはじめてください。

1 箱を開けて確認します。



⇒ 設置編「箱を開けて確認します」(P.2)

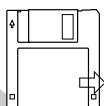
9 データを印刷します。



8 プリンター・ドライバーをインストールします。

お使いになるオペレーティング・システムに合わせてプリンター・ドライバーをインストールします。

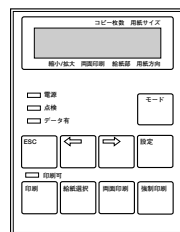
Windows 95/98用のプリンター・ドライバー
WindowsNT3.51用のプリンター・ドライバー
WindowsNT4.0用のプリンター・ドライバー



⇒ 設置編「プリンター・ドライバーをインストールする」(P.31)

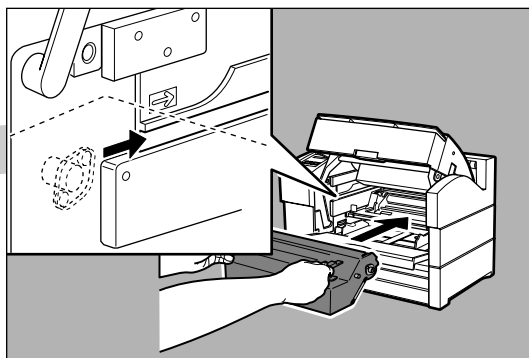
7 システム・ユニットに合わせてプリンターを設定します。

インターフェースの設定、エミュレーションの設定、ネットワーク環境の設定など、本プリンターをお使いになる環境に合わせて、プリンターを設定します。



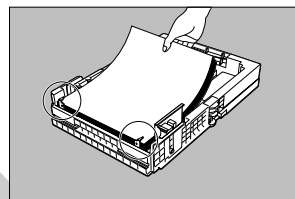
⇒ 設置編「システム・ユニットに合わせてプリンターを設定します」(P.27)

2 EPカートリッジを取り付けます。



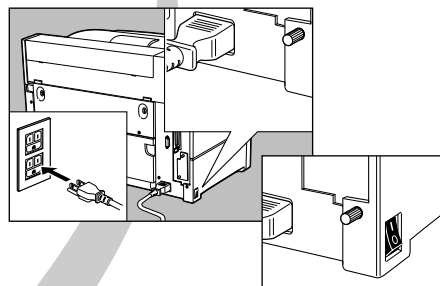
⇒ 設置編「EPカートリッジを取り付ける」
(P.13)

3 給紙カセットに用紙をセットします。



⇒ 設置編「給紙カセットに用紙を
セットする」(P.16)

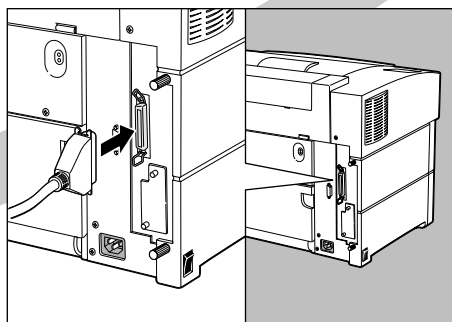
4 電源コードを接続し、電源を入れます。



⇒ 設置編「電源コードを接続し、
電源を入れる」(P.19)

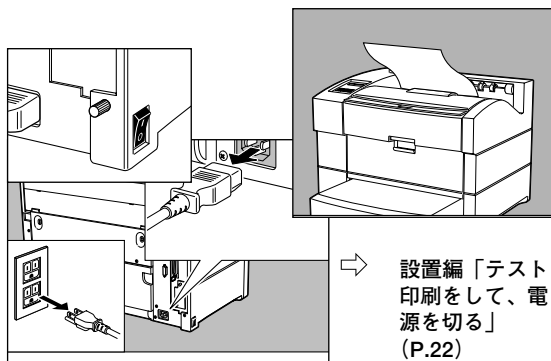
6 プリンターとシステム・ユニット を接続します。

⇒ 設置編「プリンターとシステム・ユニットを
接続する」(P.26)



5 テスト印刷して、電源を切ります。

テスト印刷をして、プリンターが正常に動作
するかどうかを確認します。



⇒ 設置編「テスト
印刷をして、電
源を切る」
(P.22)

こんなときにはここを読んでください

IBM® 5589-K20プリンターについて知りたいとき、どこを読めばよいのかを、プリンター各部について示しました。

操作パネルのスイッチやランプについて知りたいとき

⇒ 「スイッチの使いかた」 (P.36)、「ランプの見かた」 (P.38)

液晶表示部について知りたいとき

⇒ 「液晶表示部の見かた」 (P.40)

エラーメッセージが表示されたとき

⇒ 「エラーメッセージが表示されたとき」 (P.180)

カートリッジの交換方法について知りたいとき

⇒ 「EPカートリッジを交換する」 (P.87)

不定形用の紙や特殊な用紙を使うとき

⇒ 「前面給紙トレイの用紙サイズの設定」 (P.106)

点検ランプがついたとき

⇒ 「エラーメッセージが表示されたとき」 (P.180)

⇒ 「EPカートリッジを交換する」 (P.87)

データ有ランプがついたとき

⇒ 「残ったデータを強制的に印刷するには」 (P.58)

プリンターの設定を変更するには

⇒ 「モード設定について」 (P.94)

用紙が詰まったとき

⇒ 「詰まった用紙を取り除く」 (P.60)

前面給紙トレイへの用紙の
セット方法を知りたいとき

⇒ 「前面給紙トレイに用紙をセットする」 (P.44)

給紙カセットへの用紙のセット方法を知りたいとき

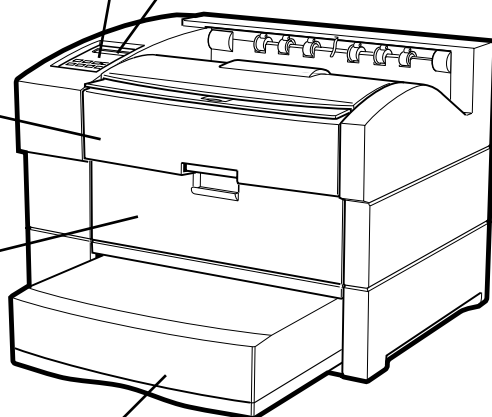
⇒ 「給紙カセットに用紙をセットする」 (P.43)

オプション製品について知りたいとき

⇒ 「サプライ品・オプション製品の紹介」 (P.199)

プリンターのお手入れについて知りたいとき

⇒ 「日常の取り扱い」 (P.190)



レーザーの安全性

この装置は、米国食品医薬品局の規定するクラスIレーザー製品の性能基準を満たしています。すなわちIBM 5589-K20は、危険なレーザー光を出さないレーザー製品のクラスに属しています。これを実現するため、本装置では、レーザー光が人体に届かないようにする（つまり、クラスIの限度内におさまるようにする）ために必要な保護筐体、インターロック、および走査保護が備えられています。工具の使用を必要とする各種の機械カバーの脱着、交換は、資格を持った保守担当員のみが行います。操作員によるレーザーの調節はありません。

商標およびCopyrights

2001年1月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

本書中、以下の商標はIBM Corporationの商標です。

IBM, OS/2, PS/55, PS/2, RISC System/6000, IBM PC-AT

本書中、以下の用語は各社の商標または、登録商標です。

キヤノン (株) CANON、BJ-10v、BJ-10

セイコーエプソン (株) EPSON、ESC/P

日本電気 (株) NEC、PC-PR201H、201PL、PC-PR201

米国ノベル社 NetWare

米国マイクロソフト社 Microsoft、Windows

米国ゼロックス社 イーサネット

本書中では、以下の略称を用いています。

- Microsoft® Windows® 95 日本語版→Windows 95
- Microsoft Windows 98 日本語版→Windows 98
- Microsoft Windows NT® Version 3.51 日本語版→Windows NT 3.51
- Microsoft Windows NT® Version 4.0 日本語版→Windows NT 4.0
- Microsoft Windows Version 3.1 日本語版→Windows 3.1

© Copyright International Business Machines corporation 1999

本製品の使用量について

本製品の使用量は次のように想定されております。

1日の使用時間	8時間
1ヶ月の使用時間	160時間
1ヶ月当たりの印刷枚数	3000枚（A4）

これよりも多くご使用される場合、機械的消耗による印字品質の低下が発生することがあります。これを防止するためには機械部品の一部に交換が必要になる場合があります。詳しくは保守サービス員、保守サービス会社、またはお買いあげの販売店にご相談下さい。

はじめに

このたびは、IBM 5589-K20をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、IBM 5589-K20の操作および取り扱い上のご注意などを記載した説明書です。ご使用になる際によくお読みいただき、IBM 5589-K20を十分にご活用ください。

必要なときにすぐに取り出してご覧いただけるように、大切に保管してください。

本書では、以降IBM 5589-K20を、単に「プリンター」、
「本プリンター」、「本製品」、「本機」などと記述しています。

電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

LANカード・オプション装着時

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



安全に正しくお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくために安全表示が記述されています。

本書を保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

本書および製品への安全表示については、製品を正しくお使いいただいて、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険/注意ラベルの表示について

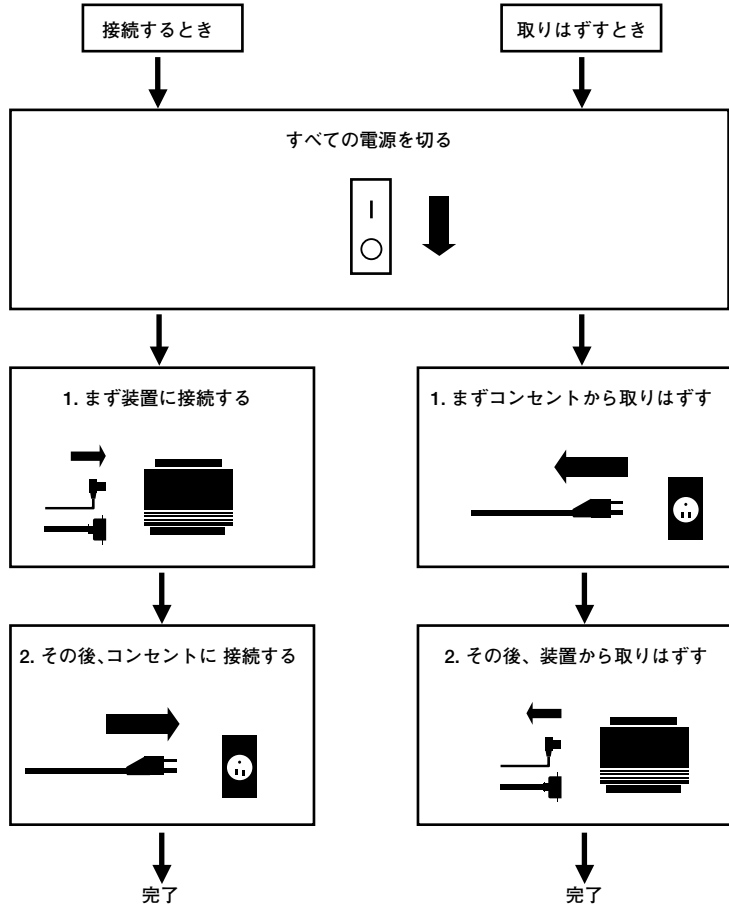
本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全に関する、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示にしたがってください。

本書に記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合には（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示にしたがってください。

⚠ 危険

電源コード、電話線、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または装置を接続するときには、下記のようにケーブルの接続、取りはずしを行ってください。

本製品は、安全のため3線電源コードおよび3ピン電源プラグを使用しています。電源プラグは、必ず接地端子付きコンセントに差し込んで使用してください。



危険

- 本書で指示している操作部分以外は、自分で手入れや修理を決してしないでください。火災、感電のおそれがあります。本機の性能に明らかな変化が認められ、手入れや修理が必要とされる場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。
- ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 注油や分解はしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機は、付属の電源コード以外は使用しないでください。付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。
なお、本機の定格電源は100V、7.5Aとなっています。
- 電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災の原因となることがあります。
- 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源コンセントはアース端子付き3極コンセントを使用してください。
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)、保守サービス員、保守サービス会社または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードが破損し、火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- コンピューターの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、テレビのアンテナ線接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると発火のおそれがあります。
 - ・本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
 - ・異常な音や臭いがするとき
 - ・本機の内部に水が入ったとき
- 万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

- 万一、本機を落とししたり、本機が損傷を受けた場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。
- 本機の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、本機内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。
- EPカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。カートリッジ内に残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- ピン、クリップ、ステープラーの針など金属類でとめた紙に印刷しないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 本製品を廃棄する場合は、必ずEPカートリッジをはずし、本体とは別に処理してください。

注意

- 本機の電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。プラグが変形し、発火の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- インターフェース・ケーブルおよびオプション製品を接続するときは、必ず電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 本機の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに本機の清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。
- 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本機の通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本体を持ち上げたり、配線を変えたり、移動したりするときは、2人以上で行ってください。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となることがあります。
- 本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に重い物を載せないでください。本機のバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。引火の原因となることがあります。
- 紙詰まりを処理するために、定着器に触れるときには、十分に冷えていることを確認してから紙詰まりを処理してください。
- 「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。なお、定着器やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。けがの原因となります。ただちに電源を切り、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。
- 見えない部分や見えにくい部分に詰まった用紙を取り除くときは、無理に取るとけがの原因となります。保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。
- 詰まった用紙を取り除くときは、本機内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因になることがあります。
 なお、紙片が取り除けない場合および定着器やローラー部に用紙が巻きついているときには無理にとらないでください。けがの原因となります。直ちに電源を切り、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。
- 排紙部カバーは、オプションの両面印刷ユニットを取り付けるとき以外ははずさないでください。紙詰まりの処置などで定着器カバーを開いたときに排紙部カバーがはずれた場合は必ず取り付け直してください。
 排紙部カバーをはずしたまま使用しないでください。排紙部カバーは使用中に高温になる定着器をおおっています。使用中に誤って定着器に触れると、やけどの原因となることがあります。
- 1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は保守サービス員、保守サービス会社または販売店までご連絡ください。
 - ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
 - ・電源プラグに異常な発熱やサビ、曲がりなどはありませんか。
 - ・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていませんか。
 - ・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
- 印刷直後は、プリンター内部の定着器周辺が非常に高温になっています。ご注意ください。
 - ・上面カバーの開閉、EPカートリッジの取り付け、詰まった用紙の取り出しなどを行う場合には、これらの部分に触れないように、特に注意してください。
 - ・また、プリンターにカバーをかける場合は、電源スイッチをOFFにし、この部分の温度が十分に下がってからにしてください。
- 前面給紙トレイカバーおよび上面カバーの開閉はていねいに行ってください。
- 印刷中は、振動を与えないでください。
- 印刷中は、絶対に上面カバーを開けないでください。
- 印刷中は、給紙カセットを抜かないでください。

その他

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を換えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

5589-K20の特長

本プリンターは、次のような特長をもつ電子写真方式のレーザー・プリンターです。

■ 標準ページ記述言語PAGESを搭載

ページ記述言語としてPAGES (Page Printer Advanced Graphics Escape Set) を搭載し、高品質のDTP (デスクトップパブリッシング) を実現することができます。また、IBMシステムとの接続において、高い信頼性を提供します。

■ 豊富なエミュレーションを搭載し、マルチベンダに対応

IBM 5577エミュレーションを装備

IBM 5577エミュレーションを搭載し、IBM 5577プリンター対応のソフトウェアでの使用ができます。また、IBMシステムとの接続において、高い信頼性を提供します。

ESC/Pエミュレーションを装備

ドット・インパクト・プリンター言語であるESC/P24-J84を搭載し、ESC/P対応のソフトウェアでの使用ができます。

201PLEミュレーションを装備

ドット・インパクト・プリンター言語である201PLを搭載し、PC-PR201対応のソフトウェアでの使用が可能です。

■ 新郵便番号制カスタマ・バーコードに対応

郵政省が制定した新郵便番号制カスタマ・バーコードが印刷できます。

■ 高速処理を実現する高性能32ビットRISCプロセッサーを搭載

コントロール部には、最新の高性能32ビットRISCプロセッサー (50MHz) を搭載し、A4用紙の場合、1分間に最大20枚という高速印刷を行います (ただし、印刷速度は印刷内容により変わります)。また、短時間で各種アウトライン・フォントを美しく鮮明に出力します。

■ 720dpi相当の高解像度でSFCによる高品質の印字

SFC (スーパー・ファイン・コントロール) 機能により、720dpi相当という高解像度で、品質の高い印刷を実現しています。SFC機能は文字や図形の輪郭を自動的にスムージング処理してより滑らかに美しく印刷することができます。

■ 平成フォントを標準で搭載

日本語フォントとして、美しい平成アウトライン・フォント（平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5、（注））を標準搭載し、サイズの大きな文字でも美しく印字し、高度なDTP文書が作成できます。

（注）この書体は（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

■ Code Page943に対応

Windowsがサポートしている新JIS（JIS90）並びのフォントが印字できます。

■ 各種用紙サイズ、用紙の種類に対応

印刷できる用紙のサイズは、A3から88mm（W）×148mm（H）まで広い範囲のサイズに対応、扱える用紙の種類も、普通紙、ラベル紙、官製ハガキ、OHPとさまざまなタイプに対応できます。

■ 使いやすい操作パネルの採用

給紙方法、印刷の中断などは、操作パネルのスイッチを押すだけといった簡単な操作。コピー枚数や印刷範囲の設定など、印刷のための各種設定も、わかりやすいメニューを使って行います。

■ 最大1650枚までの大量連続印刷も可能

別売の給紙ユニットを取り付けることにより、給紙カセットを3段にまですることができ、さらに効率のよい印刷作業が行えます。3段増設時には最大1500枚まで用紙をセットすることができ、効率よく大量印刷が行えます（前面給紙トレイを含めると、最大1650枚までセットできます）。

■ オフィス環境対策；パワー・セーブ・モード/トナー・セーブ・モード/オゾンレス設計/低消費電力設計を採用

パワー・セーブ・モード/トナー・セーブ・モードを採用することにより、電力やトナーの消費を抑えて、低ランニング・コストを実現するとともに、環境にやさしい省エネ時代のプリンターとなっています。また、オゾン発生量も大幅に低減し、最大750Wの低消費電力設計とともに、オフィス環境への配慮がされています。

■ Windowsドライバーを標準添付

標準添付のWindows用ドライバーを使用することにより、Windowsでの快適な印刷を実現します。

■ 便利な両面印刷とオフセット排出機能

別売の両面印刷ユニットをセットすると、両面印刷ができます。また、LANカード・オプションを接続しオフセット排出機能をONにすると、1回の印刷が終わるごとに用紙をずらして排出することができ、丁合やスタックプリントに便利です。

本書の読みかた

本書の構成

本書は、「設置編」「基本操作編」「応用操作編」「異常時の診断と日常の取り扱い編」の4編に大きく分かれています。各編には、次のような内容が書かれています。

■ 設置編

プリンターを設置するときにお読みください。

プリンターをお使いになるまえに心得ておいていただきたい注意事項、プリンターの設置方法から、システム・ユニットとの接続、プリンター・ドライバーのインストール、テスト印刷までの手順について説明しています。

■ 基本操作編

一般的な印刷の際の操作を知りたいときにお読みください。

用紙のセット方法から印刷の操作、詰まった紙の取り除き方など、印刷に関する基本的な操作について説明しています。

■ 応用操作編

より高度に使いこなしたいときにお読みください。

一般的な印刷では望みどおりの結果が得られない、プリンターをより高度に使いこなしたいという場合のために、操作パネルを使った各種印刷設定の方法について説明しています。

■ 異常時の診断と日常の取り扱い編

印刷をされていて困ったことが起きたときにお読みください。

印刷時に起こりやすいトラブルを取り上げ、その原因と対処方法について説明しています。

また、日常のお手入れの方法など取り扱いについても説明しています。

巻末には、用紙について、サプライ品・オプション製品の紹介、文字セット一覧、本プリンターの主な仕様、索引などを記載しています。

本書で使われているマークについて



操作をするうえで守っていただきたいことや重要な情報が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために必ずお読みください。



機能や操作についての補足説明が書かれています。

目次

設置・操作ガイド

この順番で作業を進めます	ii
こんなときにはここを読んでください	iv
レーザーの安全性	v
本製品の使用量について	vi
はじめに	vii
電波障害自主規制届出装置の記述	vii
安全に正しくお使いいただくために	viii
5589-K20の特長	xiv
本書の読みかた	xvi
目次	xviii

設置編

箱を開けて確認します	2
各部の名称とはたらきを覚えてください	5
設置についてのご注意	8
プリンターを設置します	12
設置手順の流れ	12
EPカートリッジを取り付ける	13
給紙カセットに用紙をセットする	16
電源コードを接続し、電源を入れる	19
テスト印刷をして、電源を切る	22
プリンターとシステム・ユニットを接続する	26
システム・ユニットに合わせてプリンターを設定します	27
設定手順の流れ	27
エミュレーションの設定をする	28
インターフェースを設定する	30
プリンター・ドライバーをインストールする	31
Windows 用のプリンター・ドライバーをインストールする	31
OS/2 Warp用のプリンター・ドライバーをインストールする	32
最新のプリンター・ドライバーの入手先	33

基本操作編

操作パネルの使いかた	36
------------------	----

スイッチの使い方	36
ランプの見かた	38
液晶表示部の見かた	40
基本的な印刷手順	42
印刷手順の流れ	42
用紙をセットする	43
給紙カセットに用紙をセットする	43
前面給紙トレイに用紙をセットする	44
電源を入れる	46
給紙部を選ぶ	46
給紙カセットを使うとき	47
前面給紙トレイを使うとき	47
初期値を変更する	48
前面給紙トレイの用紙サイズを選ぶ	50
印刷する	56
印刷を中断するには	57
中断した印刷を再開するには	57
残ったデータを強制的に印刷するには	58
リセット、印刷の取り消しをするには	59
知っておきたい印刷操作	60
詰まった用紙を取り除く	60
紙詰まりの起こる場所	61
「カミヅマリ キュウシブ」と表示された場合	62
「カミヅマリ ソウチナイブ」「カミヅマリ ハイシブ」と表示された場合	68
「カミヅマリ リョウメンユニット」と表示された場合	75
印刷濃度を調整する	85
EPカートリッジを交換する	87

応用操作編

モード設定について	94
モード設定の基本操作	97
モード設定に使うスイッチ	97
モード設定の流れ	97
モード設定に入る	99
設定項目を選ぶ	100
選択肢を選ぶ	101
数値を設定する	102
モード設定を終了し、設定値の保存方法を選ぶ	103
途中で設定をやり直すには	104

用紙の設定 [1. ヨウシセッテイ].....	105
前面給紙トレイの用紙サイズの設定 [マイトレイ ヨウシサイズ].....	106
前面給紙トレイの用紙方向の設定 [マイトレイ ヨウシホウコウ].....	109
前面給紙トレイのマーヅンの設定 [マイトレイ マーヅン].....	110
第1給紙カセットの用紙方向の設定 [カセット1 ヨウシホウコウ].....	112
第1給紙カセットのマーヅンの設定 [カセット1 マーヅン].....	113
共通設定 [2. キョウツウセッテイ].....	115
タイム・アウト [タイムアウト].....	115
自動復帰 [ジドウフキ].....	117
パワー・セーブ・モード [パワーセーブ].....	118
アラーム設定 [アラームセッテイ].....	120
表示モード [ヒョウシモード].....	121
漢字コード [カンジコード].....	122
ページ・プロテクト [ページプロテクト].....	125
オフセット排出機能の使用 [オフセットハイシュツ].....	126
インターフェース設定 [3. インターフェイスセッテイ].....	127
パラレル・インターフェースのモード設定	
[パラレルセッテイ][インターフェイスモード].....	127
パラレル・インターフェースのエミュレーションモード設定	
[パラレルセッテイ][エミュレーション].....	129
ネットワーク・インターフェースのエミュレーションモード設定	
[AIOセッテイ][エミュレーション].....	131
テスト印刷 [4. テストモード].....	133
セルフ・テスト印刷 [セルフテストインサツ].....	133
詳細設定 [5. ショウサイセッテイ].....	135
ページの拡大・縮小 [ページハイリツ].....	135
コピー枚数 [コピーマウスウ].....	138
自動トレイ切り替え [ジドウトレイキリカエ].....	139
トナー・セーブ・モード [トナーセーブモード].....	140
全角書体 [センカクショタイ].....	142
データの折り返し位置 [データリカシイ].....	143
両面綴じ方向 [リョウメンツジホウコウ].....	144
PAGES設定 [6. PAGESセッテイ].....	145
半角書体 [ANKフォント].....	145
キャラクター・モード [キャラクターモード].....	147
ESC/P設定 [7. ESC/Pセッテイ].....	149
各国語対応の文字 [コクサイモジセンタク].....	149
ANK文字コード [ANKモジコード].....	150
CR改行 [CRカイギョウ].....	151

201PLの設定 [8. 201PL セッテイ].....	152
アウトライン・フォント [アウトラインフォント].....	153
グラフィック [グラフィック].....	154
漢字0字体 [カンジ 0 ジタ].....	155
ANK0字体 [ANK 0 ジタ].....	156
CR改行 [CRかぎょ].....	157
印字指令 [インジ シイ].....	158
自動改行 [ジドウかぎょ].....	159
用紙長制御 [ヨウシチョウセキょ].....	160
用紙長設定 [ヨウシチョウセッテイ].....	161
用紙セット位置 [ヨウシセットイ].....	162
センタリング位置 [センタリングイ].....	163
各国語対応の文字 [カクコ モジ].....	164
ANK文字 [ANKフォント1][ANKフォント2].....	165
工場出荷値に戻す [シユツカニモドス].....	166
ユーティリティー・ディスクットについて.....	168
プリンター・ドライバーの選択と導入.....	169
Microsoft Windows 95/98 日本語版.....	169
Microsoft Windows NT Version3.51/4.0 日本語版.....	169
IBM OS/2 WarpV3 日本語版以上.....	169
IBM日本語DOS J4.0/J5.0.....	170
ユーザー・フォント・ユーティリティーについて.....	171
印刷取消要求.....	172
ネットワーク印刷中のジョブの取り消し.....	173

異常時の診断と日常の取り扱い編

異常時の診断.....	176
電源投入時の異常.....	177
NVRAM消去の手順.....	178
操作パネルの異常.....	179
エラーメッセージが表示されたとき.....	180
用紙送りの異常.....	183
印刷に関する異常.....	184
異常な音がするとき.....	189
日常の取り扱い.....	190
お手入れについて.....	190
プリンターを移動するときには.....	191

付 録

付録A 用紙について	194
使用できる用紙について	194
特殊な用紙について	195
推奨用紙	196
使用できない紙	197
印刷推奨領域・印刷保証領域	198
用紙の保管について	198
付録B サプライ品・オプション製品の紹介	199
サプライ品	199
オプション製品	201
付録C 拡張メモリー、増設フラッシュ・メモリーの装着	203
付録D エミュレーションの解説	205
PAGES	205
5577	210
ESC/P	211
201PL	214
NetWare 3.1xJ、4.1xJ上でのプリンターの共有	219
付録E 文字セット	221
付録F 其他のご注意	227
主な仕様	230
索 引	231